

自然豊かな日本遺産井波のまちなみに、 地域資源で走る持続可能な公共交通網づくりプロジェクト

メンバー

実施者：一般社団法人 ジソウラボ

連携団体：南砺市井波地区地域づくり協議会、(株)島田木材、(株)コリアルサングァロン

活動目的

交通不便地である井波地域において、地域のコミュニティや地域の人々の支え合いによって行う移動の仕組みを構築する。特に子育て世代や高校へ通ったり、習い事へ通う子供達の移動について検討する。また、その際にはより省エネルギーで移動できるなど、地域のエネルギーにも着目し、住み続けることができる持続可能な地域をめざす。

対象地域の概要

対象地域：富山県南砺市井波地区

(人口) 約8,000人

(世帯数) 約2,600世帯

(高齢化率) 36.1%



取り組み内容

- ◆ 地域コミュニティによる相乗り、及び商品の配送の実施
顔の見える関係の中で、移動ニーズ(時間、場所)をまとめ、適した移動方法を選択するという仕組みづくりに取り組む。移動ニーズのマッチングは、既存のアプリ等のシステムを活用。
- [1] 井波地域持続可能な移動の仕組みづくり協議会の発足と、協議会の開催
 - ・ 2020年度初頭に井波地域持続可能な移動の仕組みづくり協議会を発足する。
- [2] シンポジウムの開催
 - ・ 協議会を通して集約した交通に関する課題や、協議会で協議したプランの実行方法、2020年度に実施した活動内容を広く市民と共有する。
- [3] 地域コミュニティによる相乗り、及び商品の配送の実施
 - ・ 相乗りのためのコミュニティを形成し、実証実験を実施。
 - ・ ワークショップを年に4回開き、相乗りシステムを実際に使ってみた感想や改善点を聴取し、システムに改善を加える。
 - ・ 相乗り実証実験協力者の方には、車に事業をPR用ステッカーを貼ってもらう。

2019年度の活動実績

- ・ 地域の課題を抽出し、取り組むべき仕組みの方向性を示すことができた。
- ・ 地域交通を市民レベルで考え、実施する協議会設立準備ができた。
- ・ 交通について市民レベルで関わりをもつことができる人材を発掘した。

期待される成果

地域の人々の顔が見え信頼関係を築けてきた地域だからこそ、市民と交通事業者が助け合い、支え合う地域力で移動課題解決が目指せる。特に子育て世代の課題に取り組み、住み続けられる地域、住みたい地域になる。

アピールポイント

交通課題について、これまでは行政に頼るばかりで、市民で交通について考える機会がなかった。今回の活動は、地域住民自らが交通について考え、実証していく。